

あおもり駅前ビーチでブルーカーボン

NPO法人あおもりみなとクラブ

志田内海株式会社

八戸工業大学地域産業総合研究所

プロジェクトの概要

【フィールド：あおもり駅前ビーチ】

青森県が青函連絡船の発着所であった岸壁を「人と海のふれあい再生」を目的に、自然豊かで触れ合える港として整備した人工海浜（2021年7月開園）

【活動内容】

自治体、市民団体、企業、大学が連携して「人と水生生物が共存する居心地のいい空間づくり」のために以下のことを行っている。

- ① 海岸及び海中清掃。（居心地のいい空間づくり）
- ② アマモの花枝採取、播種、栄養株の移植によりアマモ場を造成。
（気候変動対策としてCO₂の吸収及び生物多様性を創出するため）

【結果（2021年7月～2023年8月）】

- ① 0.027haのアマモ場を確認。クレジット認証対象のCO₂吸収量0.2t。
- ② カレイ類、メバル類、ハゼ類、ハギ類、ウミタナゴなどの水産動物が生育。

プロジェクトの特徴・PRポイント

【人と水生生物が共存する居心地のいい空間づくり】

- ☆アマモの重要性を発信できる場。
- ☆地域のコミュニティ及び憩いの場。
- ☆青森港の賑わい創出の一環を担っている。

【青森県では2番目、アマモでは初となるクレジットの取得】

- ☆情報発信により、陸奥湾内のアマモのブルーカーボン事業のフラグシップに。
- ☆活動を拡大していき、気候変動対策及び水産資源の増加に貢献していきたい。

